別記様式第１号

　　年　　月　　日

主任技術者の兼務承認申請書

野々市市長　宛

所　在　地

商号又は名称

代表者職氏名

　下記の対象工事について、他の工事に従事する（予定を含む。）者を主任技術者として配置したいため、兼務の承認を申請します。

記

|  |  |
| --- | --- |
| 技術者氏名 | フリガナ |
| （生年月日　　　年　月　日） |
| 対象工事 | 工　　事　　名 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 工事着手予定日 |  |
| 他工事従事状況 | 工　　事　　名 |  |
| 工　事　場　所 |  |
| 発注機関名 |  |
| 請負代金額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円 |
| 工　　　期 | 年　　月　　日から　　　　　年　　月　　日まで |
| 工　事　概　要 |  |
| 兼務申請理由 | （理由番号） | （具体的な内容） |
| 対象工事との距離 | ｋｍ |
| CORINS登録の有無 | 有　・　無 |
| 現場代理人の兼務状況 | 兼務している　・　兼務していない |

（他工事発注機関の承認欄）

　　　　年　　月　　日

上記内容について承認します。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

（添付書類）

１　申請にあたっては、当該申請書に、兼務させようとする工事の施工場所及び工事概要がわかる書面（位置図、工事設計書等）を添付すること。

２　他工事発注者に承認を受ける際には、他工事発注者に対し、対象工事の施工場所及び工事概要がわかる書面を提示すること。

（記載要領）

１　「対象工事」は、今回、主任技術者を兼務させようとする工事について記載すること。

２　「工事着手予定日」は、契約書上の着工日ではなく、実際の工事のための準備工事（現場事務所等の建設又は測量を開始することをいう。）の初日をいう。

３　「他工事従事状況」は、他の工事に係る兼務の従事状況（予定を含む。）の概要を記載するこ

と。

　　※監理技術者として従事している場合、兼務は認めない。

４　「兼務申請理由」は、今回の申請理由について次のいずれか該当するものの番号とその具体的な内容を記載すること。

　　　①：工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事であるため

　　　②：施工にあたり相互に調整を要する工事であるため

５　「対象工事との距離」は、対象工事との直線距離を記載すること。

６　「現場代理人の兼務状況」は、該当する状況に「○」を付けること。

７　「他工事発注機関の承認欄」は、他工事の発注者に内容の確認を依頼し、発注者の記名、押印を行うこと。ただし、対象工事と他工事の発注者が同一の場合、他工事が主任技術者を専任で配置する必要のない工事である場合は、事前に発注機関の承認を得る必要はない。

（留意事項）

主任技術者の兼務が認められるのは、以下のすべてに該当し、発注者が工事の品質及び安全性が確保されると判断した場合に限る。

（１）工事の対象となる工作物に一体性若しくは連続性が認められる工事又は施工にあたり相　互に調整を要する工事で、かつ、工事現場の相互の間隔が10ｋｍ程度の近接した場所にあること。

（２）兼務する工事が２件であること。